

若林信夫教授略歴

昭和17年5月8日 長野県小県郡青木村に生まれる

学 歴

昭和36年3月 長野県立上田高等学校卒業
 昭和37年4月 小樽商科大学商学部入学
 昭和41年3月 同 上 卒業
 昭和41年4月 北海道大学大学院経済学研究科修士課程入学
 昭和43年3月 同 上 修了
 昭和43年4月 北海道大学大学院経済学研究科博士課程入学
 昭和45年3月 同 上 退学

学 位

昭和43年3月 経済学修士（北海道大学）

職 歴

昭和45年4月 小樽商科大学商学部講師
 昭和47年10月 同 上 助教授
 昭和49年5月 文部省情報処理研究員，東京大学（昭和50年2月まで）
 昭和55年12月 文部省在外研究員，スタンフォード大学他
 （昭和56年10月まで）
 昭和62年10月 小樽商科大学商学部教授
 平成14年3月18日 病気のため逝去（享年59歳）

学会活動

日本オペレーションズ・リサーチ学会（フェロー，平成7・8年度北海道支部長）

若林信夫教授研究業績

著 書

(共 著)

「経済学 1 価格の理論」(主編者 根岸 隆) 有斐閣 1976年 2月

第 4 章 企業行動の理論 (1)

第 5 章 企業行動の理論 (2)

「社会科学への招待 経済学理論篇」(根岸 隆 編著) 日本評論社

1977年10月

第 3 章 管理科学と企業理論

「現代経済学の理論と応用」(編者 論文集編集委員会) 新評論 (理論篇)

1979年10月

(早川泰正教授還暦記念論文集) 新評論 (合本)

1980年 6月

第 2 章 生産理論の新しい展開

「現代経済学講義」(早見・鶴沢・若林・今・佐竹著) 中央経済社 1986年 4月

訳 書

(共 訳)

「データベース管理」 James Martin 著 (穂鷹・若林訳)

日本コンピュータ協会 1982年 4月

辞 典

「生産関数」『経済学大事典』第 I 卷 (熊谷・篠原編) 東洋経済新報社

1980年 1月

学術論文

- 「新古典派二部門モデルにおける生産可能性フロンティアと要素価格フロンティア」
 経済学研究（北海道大学）第19巻第3号 1969年11月
- 「Joint Production を含む Neo-Classical Growth (2)」(戸島・若林)
 商学討究（小樽商科大学）第21巻第1号 1970年7月
- 「一般化された生産関数について」
 商学討究（小樽商科大学）第22巻第2・3合併号 1971年11月
- 「要素市場の歪みについて」
 商学討究（小樽商科大学）第22巻第4号 1972年2月
- 「企業成長の動学的分析」
 商学討究（小樽商科大学）第23巻第3号 1972年10月
- 「競争均衡の安定性に関する一考察」
 商学討究（小樽商科大学）第24巻第3号 1973年12月
- 「Hugo D. Scolnik の“線形計画法の新解法”をめぐって」
 第10回 SSOR 予稿集 1974年8月
- 「わが国機械産業の将来について—その多面的アプローチ」
 機械振興 第7巻12号 1974年12月
- 「資源配分問題の意味ある解法」
 日本 OR 学会1975年度春季研究発表会アブストラクト集 1975年4月
- 「2次計画」
 OR 事典編集委員会編「OR 事典」(日科技連出版社) 1975年8月
- 「大規模数理計画の解法について」
 商学討究（小樽商科大学）第26巻第4号 1976年3月
- 「プログラム言語 Plan, Pascal および BCPL の移植と使用経験について」
 商学討究（小樽商科大学）第28巻第2号 1977年10月
- 「問題解決とプログラム言語」
 商学討究（小樽商科大学）第29巻第4号 1979年2月

- 「ソフトウェア・ツールについて」
 商学討究（小樽商科大学）第30巻第4号 1980年2月
- 「数理計画法（線形計画法・2次計画法・非線形計画法）
 —増大的ラグランジュ形式による数理計画法—」
 北海道大学大型計算機センター 昭和54年度ライブラリー開発報告集
 1980年10月
- 「生産双対性とフレキシブル関数形について」
 商学討究（小樽商科大学）第31巻第3・4合併号 1981年3月
- 「離散生産集合について —分離不可能財貨と整数最適化—」
 商学討究（小樽商科大学）第33巻第4号 1983年3月
- 「組織と情報の経済理論」
 商学討究（小樽商科大学）第35巻第4特別号 1985年3月
- 「マイクロコンピュータによる問題解決
 —「騎士の漫遊」パズルとプログラム言語—」
 商学討究（小樽商科大学）第36巻第4号 1986年3月
- 「情報処理の核言語としての Modula-2」
 商学討究（小樽商科大学）第37巻第1・2・3合併号 1987年7月
- 「Modula-2トレーニング」
 Programmer's Σ 第2号 1987年7月
- 「階層的意味決定法（AHP）をめぐって」
 商学討究（小樽商科大学）第38巻第3・4合併号 1988年3月
- 「インターネットを利用したOR計算環境の改善（I），（II）」
 商学討究（小樽商科大学）第44巻第1・2合併号 1993年10月
 同 上 第44巻第4号 1994年3月
- 「最適施設配置問題の社会情報学的考察」
 商学討究（小樽商科大学）第46巻第1号 1995年7月
- 「最適施設配置問題再論 —表計算ソフトによる解—」
 商学討究（小樽商科大学）第47巻第4号 1997年3月

学会発表

- 「調整費用と企業成長」
理論・計量経済学会全国大会（京都大学） 1972年10月
- 「Hugo D. Scolnik の“線形計画法の新解釈”をめぐって」
第10回 SSOR 会議（長野立科町） 1974年 8月
- 「資源配分問題の意味ある解法」
日本 OR 学会1975年度春季研究発表会（東海大学） 1975年 4月
- 「欧米における OR の最近の動向について」
日本 OR 学会北海道支部研究会（北海道電力） 1982年 9月
- 「Cambridge LISP, TeX82, LINDO」
北海道大学情報工学専攻情報科学セミナー 1983年 2月
- 「数理経済学における「数式処理」の現状について」
統計数理研究所創立40周年記念シンポジウム
「数式処理と統計解析の接点」（統計数理研究所） 1984年11月
- 「Evaluation of Japanese National Colleges of Technology Using
Data Development Analysis」
オーストラリア OR 学会1999年度研究発表会
（オーストラリア，ゴールドコースト） 1999年 7月
- 「The Art of Spreadsheet OR: Pedagogical View」
オーストラリア OR 学会1999年度研究発表会
（オーストラリア，ゴールドコースト） 1999年 7月

その他

- 「北海道のエネルギーとエネルギー経済学」
昭和52年度北海道科学研究費による一般研究報告 1978年 3月
- 「北海道経済におけるエネルギーモデルの理論分析と計量分析」
昭和57年度北海道科学研究費による一般研究報告 1983年 3月

- 「BASIC ベンチマーク — 各社各種 BASIC を評価する —」
「The BASIC」1984年6月号 1984年5月
- 「数理経済学における「数式処理」の現状について」
「数式処理通信」第2巻第4号 1985年2月
- 「マイクロコンピュータを利用した
オペレーションズ・リサーチに関する研究」
昭和59・60年度小樽商科大学特定研究報告書 1986年3月
- 「MS-DOSとTURBO Pascalの使い勝手メモ」
「The BASIC」1986年6月号 1986年6月
- 「Modula-2がやってきた」
「The BASIC」1986年7月号 1986年6月
- 「(続) Modula-2がやってきた」
「The BASIC」1987年2月号 1987年1月
- 「応用一般均衡分析の展望とその基本ソフトウェア」
「国際経済摩擦と我が国の産業政策」所収
(昭和60・61年度小樽商科大学特定研究報告書) 1987年3月
- 「新しいModula-2コンパイラPCollier」
「The BASIC」1987年8月号 1987年7月

受賞等

- フェロー (日本オペレーションズ・リサーチ学会) 1997年